

タンデムワークショップ

みなさん、こんにちは。タンデム学習プロジェクト・チームです！ もう2月ですが、みなさん、タンデム学習は順調でしょうか？ そして、今年は特に寒い日が続きましたが、体調など崩していないでしょうか？

1月14日（水）に、文法経学部本館の中庭会議室にて、タンデム学習プロジェクトのワークショップを行いました。おやつをつまんだりしながら、参加してくれたみなさんとタンデム学習についての話し合いをしました。今回は、そのときに話し合ったことをまとめてみました。

これからの学習の参考にしてもらえると嬉しいです！ :-)

タンデム学習プロジェクト・チーム

◇ どんなふうに（自分の）タンデム学習を行っている？

- ・タンデム学習の前に文章を書いて行き、パートナーに訂正してもらう。
- ・自由に会話をする。
- ・発音を訂正してもらう。
- ・興味のある新聞記事などを読む。
- ・事前に単語を調べ、話したいことを話す。
- ・方言について書かれた本を使って、方言の表現を学ぶ。
- ・雑談をして、流行語について話す。
- ・自分の生活や旅行、趣味などについて話す。
- ・レジュメを添削してもらう。

◇ どんなふうにパートナーの学習を助けている？

- ・パートナーと自由に会話をする。
- ・パートナーの教科書に沿って学習をすすめる。
- ・パートナーが書いて来た文章を訂正する。
- ・パートナーの論文やレジュメの添削をする。
- ・パートナーが持って来た日記をチェックする。
- ・パートナーの語学の授業で出た単語を学ぶ。
- ・パートナーの発音を訂正する。

◇ タンデム学習で困っていることは何？ + 解決法

「母語の方言が日本語に影響していないか不安。例えば、「ナ」と「ラ」の発音の違い。」

- ☞ 「ナ」と「ラ」の場合は、鼻をつまんで発音したときに響くかどうかで区別できる。
鼻に響くのが「ナ」、響かないのが「ラ」。

「自信がないときはどうすればいい？」

- ☞ ・ひとりで本に書いてある文章を覚えて、ひたすら練習する。
 - ・10のことを言って、1つ伝えればいいという気持ちで話す。
 - ・SNSでお互いがすでに共有していることについて話す。
 - ・待ってゆっくり聞いてくれる人を探して、その人と話すことで練習する。
 - ・カラオケラオケに行って歌う。

「本当はコミュニケーションの練習がしたいけれど、まだそのレベルに達していない。」

今はパートナーとのタンデムで授業のようなことをしている。パートナーは私が理解できるように日本語（「私」の母語）で話してくれるが、私が理解できないとしても、パートナーにはインドネシア語（「私」の学習言語）で話してほしい。

- ☞ ・そのことをパートナーに言うてみる。何か質問をして、答えてもらったとしても、その答えを理解できないこともあるので、一方的に話すようにしてみるのも良いかもしれない。
 - ・相手が自分の学習言語で話したときに聞き取れなかった場合、相手にそのことばを書いてもらう。そうすることで自分の学習言語を練習することができる。
 - ・相手の言った言葉を書き取って、それがあっているかを確認してもらう。つづりが合うまで何度も書き直しては確認してもらうことを繰り返す。時間はかかるが練習になる。
 - ・自分の上達の度合いに合わせてタンデムのスタイルも変えていくのがいい。

◆ パートナーとのレベルの差が大きいことについてどう思うか

△デメリット : パートナーが自分の学習言語ではなく、自分の母語(あるいはもっとも得意な言語)で説明してしまう。

○ メリット : パートナーに言葉の細かいニュアンスまで聞くことができる。

◇ タンデム学習は役に立っていますか？

- ・買い物や授業以外では日本語を話す機会が少なかったので、日本語を話すいい機会になっている。
- ・女の子の友だちが欲しかったので、女の子の友達ができ、女の子の言葉も学べるという点で役立っていると思う。
- ・いま受けている日本語の授業よりも、日常会話をする機会が多いので、話す能力を身につける場になっている。

◇ パートナーの役に立っていますか？

「前期のタンデムは夏休み前に一度終了したが、後期になったときパートナーからまたタンデムをしないかという連絡があったため、役に立っていたのではないかと思う」

「パートナーの友人から、パートナーの学んでいる中国語がうまくなったという話を聞いて、相手の役に立っていたのではないかと感じた」

「長期休暇を挟んでも途切れることなく1年3か月タンデムが続いているので、お互い役に立っているのではないかと感じている」

「自分で学習言語の伸びを感じているということをパートナーにも伝えている」

☞ パートナーに、「あなたとのタンデムが、自分の役に立っている」ということを伝えてみる！